

NYC-STI-GW 工事説明書別冊【主装置接続用】

本書について

本書は、NYC-STI-GW(以後、本製品またはSTI-GWと表記)を電話機システム(主装置)に接続する場合の設定や運用例を記載しています。

おしらせ

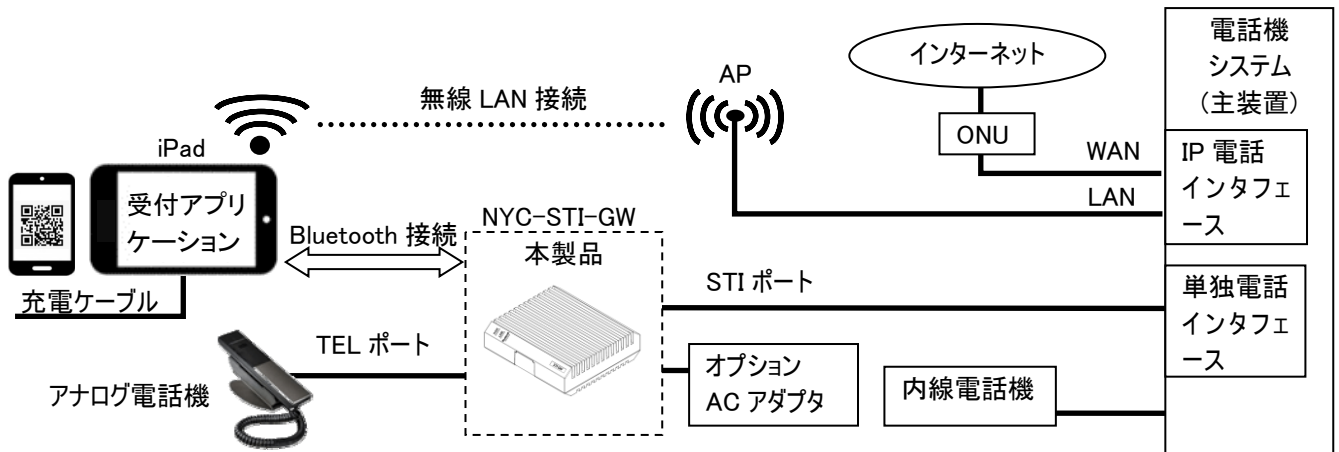
- 本書は、全ての動作を保証するものではありません。
- 本書の内容は、予告なしに変更することがあります。
- 本書に記載の各会社名・各製品名(型番など)は、各社の商標または登録商標です。
- 各機器の詳細については、各機器の説明書や各社のホームページ等でご確認ください。

①内線通話の運用例(アナログ電話機) ～iPadを使用する場合～

システム構成例

必要な用品

項目	型番	個数	備考
NYC-STI-GW	NYC-STI-GW	1	本製品
オプションACアダプタ	NYC-CHGADPA	1	—
ライセンス発行票	NYC-RECEPTION-APP	1	—
受付アプリケーション(NYC Reception APP)	—	1	—
iPad	—	1	—
主装置と単独電話インタフェースとIP電話インタフェース(インターネット回線契約含む)	—	1	Xシリーズ/Siシリーズ (※1)
アナログ電話機	—	1	(※2)(※3)



※1: 二次元コードを使用しない場合は、IP電話インタフェース(インターネット回線契約含む)は不要です。

※2: 接続確認済みの機器は、本製品のサポートサイトに掲載の「機器接続確認資料」を参照してください。

※3: 直流抵抗が300Ωを超えるアナログ電話機をご利用される場合は、販売店もしくは弊社のサービス・保守窓口へご相談ください。

(1)STI-GWの設定例

STI-GWの設定例を以下に記載します。

MODE SWITCH スイッチ番号	スイッチ 設定	備考
1	ON	iPadとBluetooth接続します。
2	OFF	OFF(初期値)でお使いください。 電話機システム(主装置)のコマンド*840「単独電話機のダイヤル種別設定」は初期値PBです。
3	OFF	OFF(初期値)でお使いください。
4	OFF	OFF(初期値)でお使いください。
5	OFF	OFF(初期値)でお使いください。
6	OFF	OFF(初期値)でお使いください。
7	OFF	OFF(初期値)でお使いください。
8	OFF	OFF(初期値)でお使いください。

(2)電話機システム(主装置)の設定例

電話機システム(主装置)の設定例を以下に記載します。

コマンド名称	対象コマンド	設定値	備考
オフフック発信機能	*111	0	STI-GWのSTIポートに接続したSTIの収容位置はオフフック外線捕捉しないように設定します。
サービスクラス	*140	6,6	内線のみ使用可能とするため、STI-GWのSTIポートに接続したSTIの収容位置はG(乙)に設定します。
電話機毎の<外線別/ DILIN別>着信鳴動設定	*310~*313	全て00	STI-GWのSTIポートに接続したSTIの収容位置は外線着信鳴動しないように設定します。

(3)電話機操作について

本製品に接続するアナログ電話機や電話機システムの電話機の操作方法につきましては、各機器の説明書をご確認ください。

おしらせ

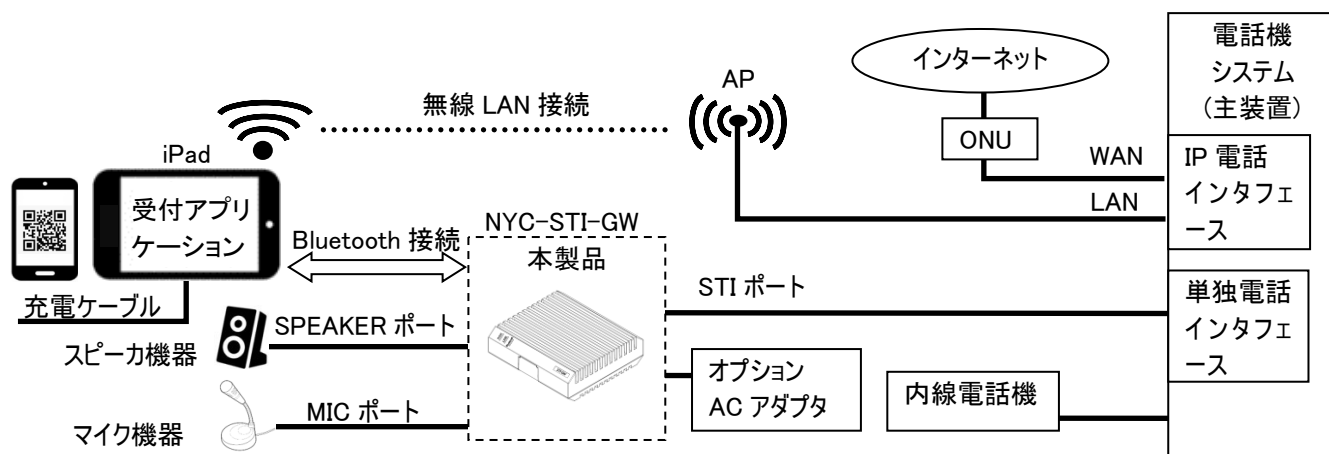
- 詳しくは、各機器の説明書をご確認ください。

②内線通話の運用例(スピーカ機器とマイク機器) ～iPadを使用する場合～

システム構成例

必要な用品

項目	型番	個数	備考
NYC-STI-GW	NYC-STI-GW	1	本製品
オプションACアダプタ	NYC-CHGADPA	1	—
ライセンス発行票	NYC-RECEPTION-APP	1	—
受付アプリケーション(NYC Reception APP)	—	1	—
iPad	—	1	—
主装置と単独電話インタフェースとIP電話インタフェース(インターネット回線契約含む)	—	1	Xシリーズ/Siシリーズ(※1)
スピーカ機器	—	1	(※2)
マイク機器	—	1	(※2)



※1: 二次元コードを使用しない場合は、IP電話インタフェース(インターネット回線契約含む)は不要です。

※2: 接続確認済みの機器は、本製品のサポートサイトに掲載の「機器接続確認資料」を参照してください。

(1)STI-GWの設定例

STI-GWの設定例を以下に記載します。

MODE SWITCH スイッチ番号	スイッチ 設定	備考
1	ON	iPadとBluetooth接続します。
2	OFF	OFF(初期値)でお使いください。 電話機システム(主装置)のコマンド*840「単独電話機のダイヤル種別設定」は初期値PBです。
3	OFF	OFF(初期値)でお使いください。
4	OFF	OFF(初期値)でお使いください。
5	OFF	OFF(初期値)でお使いください。
6	OFF/ON	OFF(初期値)を推奨します。 STI-GWから発信後、以下の条件を満たさない場合はON側にすることで16秒後に通話状態となります。ON側で使用する場合、呼出先への発信、通話ができることをご確認の上、お使いください。(※1) [条件1]単独電話インタフェースの呼出音(トゥルルル)の検出 [条件2]単独電話インタフェースのL1L2の極性が反転することの検出
7	OFF/ON	OFF(初期値)を推奨します。 OFF側の場合、スピーカ機器とマイク機器を使用する構成では、受付アプリケーションからの発信後の通話は3分(180秒)で終話します。ON側の場合、3分以上の通話が可能となりますが、STI-GWは話中音を検出して終話しますので、各呼出先との通話/終話動作をご確認の上、お使いください。(※1)
8	OFF	OFF(初期値)でお使いください。

(2)電話機システム(主装置)の設定例

電話機システム(主装置)の設定例を以下に記載します。

コマンド名称	対象コマンド	設定値	備考
オフフック発信機能	*111	0	STI-GWのSTIポートに接続したSTIの収容位置はオフフック外線捕捉しないように設定します。
サービスクラス	*140	6,6	内線のみ使用可能とするため、STI-GWのSTIポートに接続したSTIの収容位置はG(乙)に設定します。
電話機毎の<外線別/ DILIN別>着信鳴動設定	*310~*313	全て00	STI-GWのSTIポートに接続したSTIの収容位置は外線着信鳴動しないように設定します。

(3)各機器の操作について

本製品に接続するスピーカ機器、マイク機器、電話機システムの電話機の操作方法につきましては、各機器の説明書をご確認ください。

おねがい

- (※1)基本的にOFF側での使用を推奨しますが、ON側に変更して使用する場合は、無効番号への発信とならないように各呼出先への発信、および通話/終話動作ができることをご確認の上、使用するようにしてください。

おしらせ

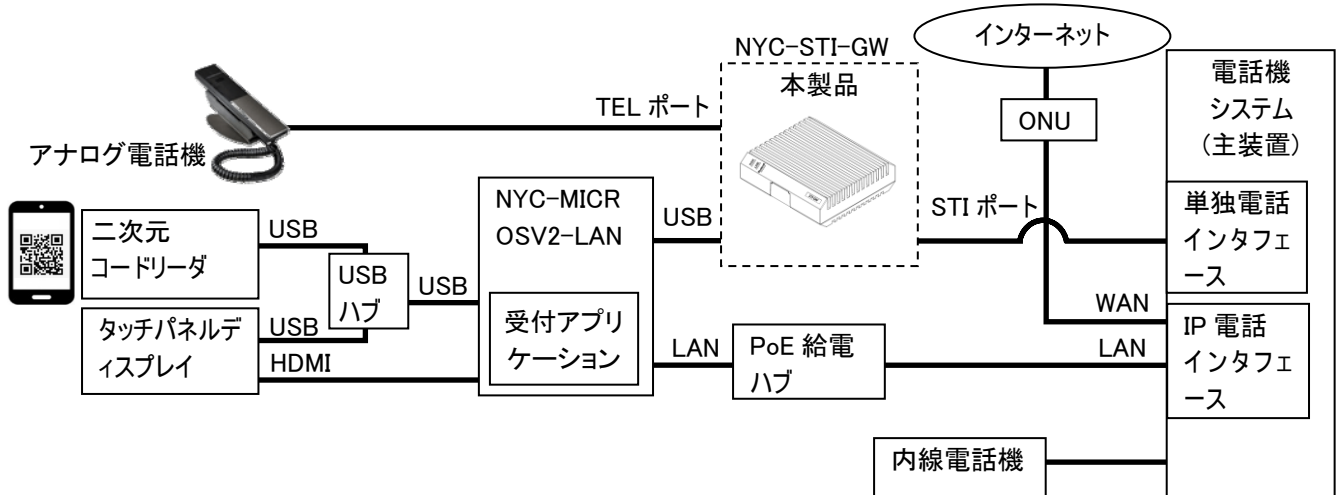
- 詳しくは、各機器の説明書をご確認ください。

③内線通話の運用例(アナログ電話機) ～NYC-MICROSV2-LANを使用する場合～

システム構成例

必要な用品

項目	型番	個数	備考
NYC-STI-GW	NYC-STI-GW	1	本製品
NYC-MICROSV2-LAN	NYC-MICROSV2-LAN	1	—
ライセンス発行票	NYC-RECEPTION-APP-MS	1	—
受付アプリケーション(NYC Reception APP MS)	—	1	—
主装置と単独電話インタフェースとIP電話インタフェース(インターネット回線契約含む)	—	1	Xシリーズ/Siシリーズ(※1)
PoE給電ハブ	—	1	(※2)
タッチパネルディスプレイ	—	1	(※2)
二次元コードリーダ	—	1	(※1)(※2)
USBハブ	—	1	(※1)(※2)
アナログ電話機	—	1	(※2)(※3)



- ※1: 二次元コードを使用しない場合は、IP電話インタフェース(インターネット回線契約含む)、二次元コードリーダ、USBハブは不要です。タッチパネルディスプレイのUSBをNYC-MICROSV2-LANのUSBに接続してください。
- ※2: 接続確認済みの機器は、本製品のサポートサイトに掲載の「機器接続確認資料」を参照してください。
- ※3: 直流抵抗が300Ωを超えるアナログ電話機をご利用される場合は、販売店もしくは弊社のサービス・保守窓口へご相談ください。

(1)STI-GWの設定例

STI-GWの設定例を以下に記載します。

MODE SWITCH スイッチ番号	スイッチ 設定	備考
1	OFF	NYC-MICROSV2-LANとUSB接続します。
2	OFF	OFF(初期値)でお使いください。 電話機システム(主装置)のコマンド*840「単独電話機のダイヤル種別設定」は初期値PBです。
3	OFF	OFF(初期値)でお使いください。
4	OFF	OFF(初期値)でお使いください。
5	OFF	OFF(初期値)でお使いください。
6	OFF	OFF(初期値)でお使いください。
7	OFF	OFF(初期値)でお使いください。
8	OFF	OFF(初期値)でお使いください。

(2)電話機システム(主装置)の設定例

電話機システム(主装置)の設定例を以下に記載します。

コマンド名称	対象コマンド	設定値	備考
オフフック発信機能	*111	0	STI-GWのSTIポートに接続したSTIの収容位置はオフフック外線捕捉しないように設定します。
サービスクラス	*140	6,6	内線のみ使用可能とするため、STI-GWのSTIポートに接続したSTIの収容位置はG(乙)に設定します。
電話機毎の<外線別/ DILIN別>着信鳴動設定	*310~*313	全て00	STI-GWのSTIポートに接続したSTIの収容位置は外線着信鳴動しないように設定します。

(3)電話機操作について

本製品に接続するアナログ電話機や電話機システムの電話機の操作方法につきましては、各機器の説明書をご確認ください。

おしらせ

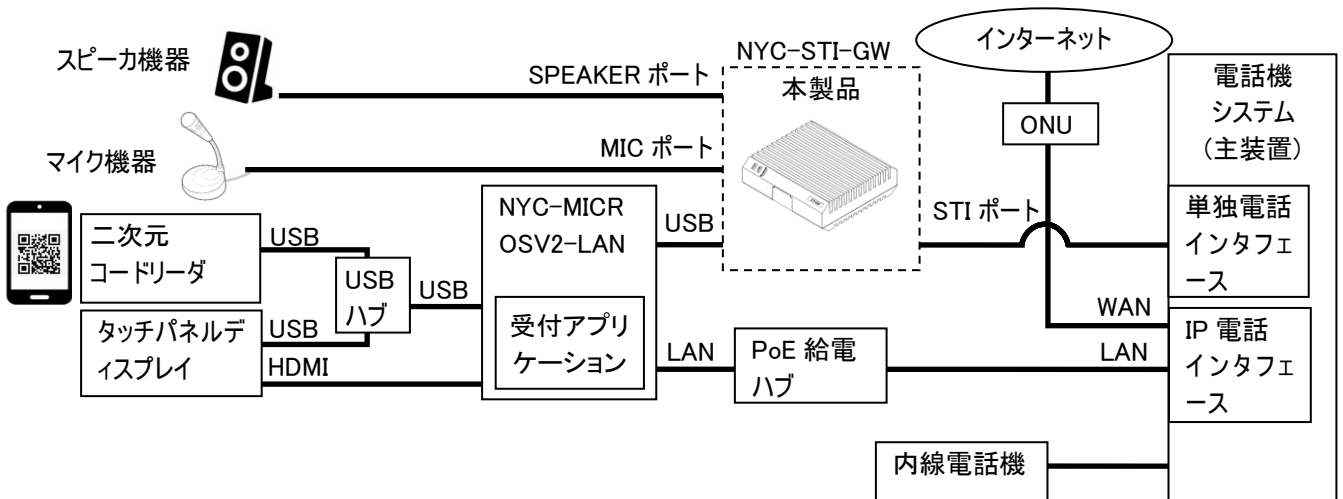
- 詳しくは、各機器の説明書をご確認ください。

④内線通話の運用例(スピーカ機器とマイク機器) ～NYC-MICROSV2-LANを使用する場合～

システム構成例

必要な用品

項目	型番	個数	備考
NYC-STI-GW	NYC-STI-GW	1	本製品
NYC-MICROSV2-LAN	NYC-MICROSV2-LAN	1	—
ライセンス発行票	NYC-RECEPTION-APP-MS	1	—
受付アプリケーション(NYC Reception APP MS)	—	1	—
主装置と単独電話インタフェースとIP電話インタフェース(インターネット回線契約含む)	—	1	Xシリーズ/Siシリーズ(※1)
PoE給電ハブ	—	1	(※2)
タッチパネルディスプレイ	—	1	(※2)
二次元コードリーダ	—	1	(※1)(※2)
USBハブ	—	1	(※1)(※2)
スピーカ機器	—	1	(※2)
マイク機器	—	1	(※2)



※1: 二次元コードを使用しない場合は、IP電話インタフェース(インターネット回線契約含む)、二次元コードリーダ、USBハブは不要です。タッチパネルディスプレイのUSBをNYC-MICROSV2-LANのUSBに接続してください。

※2: 接続確認済みの機器は、本製品のサポートサイトに掲載の「機器接続確認資料」を参照してください。

(1)STI-GWの設定例

STI-GWの設定例を以下に記載します。

MODE SWITCH スイッチ番号	スイッチ 設定	備考
1	OFF	NYC-MICROSV2-LANとUSB接続します。
2	OFF	OFF(初期値)でお使いください。 電話機システム(主装置)のコマンド*840「単独電話機のダイヤル種別設定」は初期値PBです。
3	OFF	OFF(初期値)でお使いください。
4	OFF	OFF(初期値)でお使いください。
5	OFF	OFF(初期値)でお使いください。
6	OFF/ON	OFF(初期値)を推奨します。 STI-GWから発信後、以下の条件を満たさない場合はON側にすることで16秒後に通話状態となります。ON側で使用する場合、呼出先への発信、通話ができることをご確認の上、お使いください。(※1) [条件1]単独電話インタフェースの呼出音(トゥルルル)の検出 [条件2]単独電話インタフェースのL1L2の極性が反転することの検出
7	OFF/ON	OFF(初期値)を推奨します。 OFF側の場合、スピーカ機器とマイク機器を使用する構成では、受付アプリケーションからの発信後の通話は3分(180秒)で終話します。ON側の場合、3分以上の通話が可能となりますが、STI-GWは話中音を検出して終話しますので、各呼出先との通話/終話動作をご確認の上、お使いください。(※1)
8	OFF	OFF(初期値)でお使いください。

(2)電話機システム(主装置)の設定例

電話機システム(主装置)の設定例を以下に記載します。

コマンド名称	対象コマンド	設定値	備考
オフフック発信機能	*111	0	STI-GWのSTIポートに接続したSTIの収容位置はオフフック外線捕捉しないように設定します。
サービスクラス	*140	6,6	内線のみ使用可能とするため、STI-GWのSTIポートに接続したSTIの収容位置はG(乙)に設定します。
電話機毎の<外線別/ DILIN別>着信鳴動設定	*310~*313	全て00	STI-GWのSTIポートに接続したSTIの収容位置は外線着信鳴動しないように設定します。

(3)各機器の操作について

本製品に接続するスピーカ機器、マイク機器、電話機システムの電話機の操作方法につきましては、各機器の説明書をご確認ください。

おねがい

- (※1)基本的にOFF側での使用を推奨しますが、ON側に変更して使用する場合は、無効番号への発信とならないように各呼出先への発信、および通話/終話動作ができることをご確認の上、使用するようにしてください。

おしらせ

- 詳しくは、各機器の説明書をご確認ください。